

「ながらスマホ（携帯電話）運転」厳罰化されます

～ 令和元年（2019 年）12 月 1 日から ～

自動車を運転中に、スマホや携帯電話を片手で保持して通話をするのは違反行為ですが、画面を注視し、インターネットやスマホゲーム、メール・LINE をするいわゆる「ながらスマホ運転」も違反です。

この「ながらスマホ運転」による交通事故が後を絶たないため、交通違反の違反点数、反則金、罰則が 12 月 1 日より厳罰化されます。

現 行（～2019.11.30）

改正後（2019.12.1～）

携帯電話使用等 （保 持） 講習テキスト P.56 の 42	点 数	1 点	3 点
	酒気帯点数	1 4 点・2 5 点 (免許停止・取消)	1 5 点・2 5 点 (免許取消)
	反則金	6, 0 0 0 円	1 8, 0 0 0 円
	罰 則	50,000円以下の罰金	6ヶ月以下の懲役または 100,000円以下の罰金
携帯電話使用等 （交通の危険） 講習テキスト P.56 の 43	点 数	2 点	6 点 (免許停止)
	酒気帯点数	1 4 点・2 5 点 (免許停止・取消)	1 6 点・2 5 点 (免許取消)
	反則金	9, 0 0 0 円	非反則行為
	罰 則	3ヶ月以下の懲役または 50,000円以下の罰金	1年以下の懲役または 300,000円以下の罰金

※ 軽微な違反は「反則行為」とし、反則金の納付で処分は完了し刑事罰は科せられない。

しかし、反則金の納付拒否や、正当な理由なく出頭命令を拒否する場合は起訴され、刑事罰（罰則）が科せられる。

※ 改正後の「携帯電話使用等（交通の危険）」は、重大な違反とされ、反則行為ではなく刑事罰（罰則）が科せられる。

また行政処分では「違反点数6点」となり、即「免許停止処分」となる。

(D ネット 2019.11.1)